



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月31日

上場会社名 東テック株式会社

上場取引所 東

コード番号 9960 URL <http://www.totech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 克己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 中溝 敏郎

TEL 03-6632-7000

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	44,837	10.5	2,100	39.4	2,312	39.1	1,514	47.6
2018年3月期第2四半期	40,585	9.2	1,506	3.1	1,662	0.6	1,025	5.2

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,190百万円 (36.9%) 2018年3月期第2四半期 1,599百万円 (22.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	111.22	
2018年3月期第2四半期	75.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	73,353	27,672	37.0	1,994.59
2018年3月期	74,901	25,986	34.0	1,870.28

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 27,160百万円 2018年3月期 25,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		15.00		37.00	52.00
2019年3月期		17.00			
2019年3月期(予想)				35.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	4.7	4,700	4.9	5,000	4.9	3,200	2.8	235.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	13,988,000 株	2018年3月期	13,988,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	370,837 株	2018年3月期	370,809 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	13,617,171 株	2018年3月期2Q	13,593,690 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、相次ぐ自然災害や記録的な猛暑の影響、また世界経済においては貿易摩擦激化の懸念により、景気の先行きは不透明な状況であります。

建設業界におきましては、公共投資が引き続き高い水準を維持し、民間設備投資は都市部の再開案件や人手不足を背景とした合理化・省力化に向けた投資などが増加し、官・民ともに堅調に推移しました。

このような状況の下で、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高は44,837百万円(前年同期比10.5%増)となりました。一方、利益面につきましては、営業利益が2,100百万円(前年同期比39.4%増)となり、経常利益は2,312百万円(前年同期比39.1%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,514百万円(前年同期比47.6%増)となりました。

なお、当社グループは売上高が第4四半期に集中する傾向があり、業績には季節的変動があります。

<商品販売事業>

商品販売事業におきましては、空調機器、制御機器、省エネ機器を中心とした設備機器の仕入・販売及びこれに関する据付け工事、アフターサービス等を行っております。売上高は31,505百万円(前年同期比4.2%増)、売上総利益は5,981百万円(前年同期比6.9%増)となりました。

<工事事業>

工事事業におきましては、計装工事のほか各種工事の設計・施工及び保守を行っております。当第2四半期連結累計期間において大型現場の完工があったことから、売上高は15,095百万円(前年同期比32.4%増)、売上総利益は3,934百万円(前年同期比30.4%増)となりました。

<太陽光発電事業>

太陽光発電事業におきましては、太陽光発電による電力会社への売電を行っております。売上高は28百万円(前年同期比3.5%増)、売上総利益は12百万円(前年同期比57.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,548百万円減少し73,353百万円となりました。これは保有有価証券の時価上昇や建設仮勘定の増加等により固定資産が2,736百万円増加した一方、受取手形及び売掛金の回収により得た現金を支払手形及び買掛金の支払に充当するなどしたため流動資産が4,284百万円減少したことが主な要因です。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,234百万円減少し45,680百万円となりました。これは有利子負債の純増1,768百万円があった一方、支払手形及び買掛金や電子記録債務の純減額3,853百万円や、法人税等の納付等による未払法人税等の減少432百万円及び賞与引当金の減少542百万円があったことが主な要因です。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,686百万円増加し27,672百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上から配当金の支払を差し引いた利益剰余金の純増額1,010百万円に加え、保有有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が666百万円増加したことが主な要因です。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は37.0%となり、前連結会計年度末に比べ3.0%上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月15日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,928	9,968
受取手形及び売掛金	26,511	20,313
電子記録債権	7,803	7,782
たな卸資産	2,019	2,564
未収入金	2,967	2,461
その他	308	144
貸倒引当金	△42	△22
流動資産合計	47,496	43,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,852	7,149
土地	5,938	5,985
建設仮勘定	1,985	3,174
その他	1,219	1,248
減価償却累計額	△2,727	△2,877
有形固定資産合計	13,268	14,680
無形固定資産		
投資その他の資産	2,245	2,403
投資有価証券	8,561	9,773
繰延税金資産	480	361
その他	3,132	3,203
貸倒引当金	△284	△281
投資その他の資産合計	11,891	13,057
固定資産合計	27,405	30,141
資産合計	74,901	73,353

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,099	9,880
電子記録債務	5,258	4,624
短期借入金	8,905	9,286
1年内償還予定の社債	11	-
未払法人税等	1,185	753
未成工事受入金	1,058	806
賞与引当金	1,822	1,280
役員賞与引当金	26	30
その他	2,693	2,336
流動負債合計	34,062	28,999
固定負債		
社債	150	150
長期借入金	11,147	12,545
繰延税金負債	380	736
役員退職慰労引当金	687	717
退職給付に係る負債	1,957	1,887
その他	529	643
固定負債合計	14,852	16,680
負債合計	48,915	45,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,857	1,857
資本剰余金	1,978	1,978
利益剰余金	18,554	19,565
自己株式	△129	△129
株主資本合計	22,260	23,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,372	4,039
退職給付に係る調整累計額	△165	△149
その他の包括利益累計額合計	3,207	3,889
非支配株主持分	518	511
純資産合計	25,986	27,672
負債純資産合計	74,901	73,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	40,585	44,837
売上原価	32,035	34,980
売上総利益	8,549	9,856
販売費及び一般管理費	7,043	7,756
営業利益	1,506	2,100
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	77	93
仕入割引	167	172
雑収入	45	38
営業外収益合計	295	309
営業外費用		
支払利息	75	68
手形売却損	4	4
支払保証料	31	20
貸倒引当金繰入額	16	-
雑損失	12	4
営業外費用合計	139	97
経常利益	1,662	2,312
特別利益		
固定資産売却益	-	33
投資有価証券売却益	-	187
特別利益合計	-	221
特別損失		
投資有価証券評価損	60	-
関係会社支援損	-	146
特別損失合計	60	146
税金等調整前四半期純利益	1,602	2,386
法人税、住民税及び事業税	364	714
法人税等調整額	217	164
法人税等合計	581	879
四半期純利益	1,020	1,507
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,025	1,514

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	1,020	1,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	552	666
退職給付に係る調整額	26	15
その他の包括利益合計	579	682
四半期包括利益	1,599	2,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,605	2,196
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。